



50年以上にわたり、 即戦力を育成

職業能力開発
の
現場から

千葉県立船橋高等技術専門学校

設置・運営●千葉県

所在地●千葉県船橋市高瀬町 31-7

訓練課程●メカニカルエンジニア科・冷凍空調設備科・システム設計科・金属加工科

訓練期間●2カ年訓練（冷凍空調設備科は1年、金属加工科は9カ月）

千葉県立船橋高等技術専門学校は、職業能力開発促進法に基づき千葉県が設置・運営している職業能力開発施設である。学校を卒業してこれから就職しようとしている人、転職して新しい職業に就こうとする人などへ、就職に必要な技術・知識を身につけさせるための訓練を実施している。

○基本理念

同校は、昭和37年4月に船橋市西浦町で開校。昭和59年に現在地に移転した。JR京葉線・南船橋駅から徒歩12分の場所にある。現在はメカニカルエンジニア科・冷凍空調設備科・システム設計科・金属加工科の4科構成である。

校長の串田武士氏は、同校の教育訓練の理念について「本校は、『確かな技術を身につける』をモットーに1クラス20名（金属加工科のみ12名）の少人数制です。きめ細かい指導を行うことで、実社会に役立つ技術・技能を身につけてもらい、企業での活躍が期待される即戦力を養成することを教育訓練の目標としています」と話す。

○4科の特徴

メカニカルエンジニア科は、機械系のものづくりに必要な設計・加工・計測技術と、それらを統合する生産管理能力を習得し、CAD/CAMやNC加工などのオペレーション技術や、シークエンス制御などのコントロール技術に対応できる実践的な機械エンジニアの育成を目指す。

「授業の中で『バーチャルカンパニー』というプログラムを組みます。訓練生は、実際の会社で行われているように、新製品の立案・計画・マーケティング・設計・原価計算・材料調達・製造・加工まで全てを行い、製品を設計・作成し、完成させるとはこういうことを学習してもらいます。もちろん

ん実際には計画どおりすんなりとはいかず、試行錯誤を繰り返して、講師陣も手助けをします。プロセスを学ぶことで実社会に出て企業に入ったときに大いに役立つのです」（串田校長。以下同）

冷凍空調設備科は、ビルや事務所などの業務用エアコン、スーパードライなどの業務用エアコン、据え付け、運転調整や修繕、フロン回収技術等の実践力を養う訓練をしている。

「この科は1年課程のため、学習内容が次から次へと変わり、授業では教える側も教わる側もいつも熱気にあふれています」

システム設計科では、プログラミング、ネットワーク、WEB、データベース、サーバ構築・組み込み技術等を教え、ソフトウェア関連業界で活躍できるプログラマーやシステムエンジニアの育成を目指す。

「本科で基準を満たした修了認定者には、1年間に限り『基本情報技術者試験』を、一部試験免除で受験できる制度があり、これが最大のメリットです」

金属加工科は溶接・板金加工等のものづくり分野において、多能工として活躍できるように加工及びそれに関わる関連技能について、安全で正しい作業を身につける訓練を実施している。

「この科は特に、少数定員・短期集中訓練により、幅広いものづくり分野への技能習得に対応し、企業との連携による日本版デュアルシステム訓練を導入しているため、受講生はほとんど就職が決まっています」

○修了生の声

同校のメカニカルエンジニア科を卒業した



伊澤徹さんは「機械加工の仕事がしたい」と思い、船橋高等技術専門学校のメカニカルエンジニア科に入校しました。在校中の2年間で、汎用旋盤、フライス盤、NC旋盤、マシニングセンタなどの取り扱い方や、加工に関する知識を学び、技能検定2級の資格も取ることができました。

就職についても、親身になって相談に乗っていただき、希望の会社に入職することができました。今後さらなる技術を身につけ、日々精進していきたいと思っています。機械加工に関する知識をもった先生方が、丁寧に指導してください。皆さんも本校で知識・技能を身につけ、ものづくりの仕事をしてみませんか」と語る。

○就職支援と人材育成

同校は、先生方のきめ細かな就職アドバイザーと支援体制により、高い就職率を誇る。

最後に串田校長は「私が入職した頃とは訓練科名や訓練内容は大きく変わりましたが、社会で活躍できる人材を育成し送り出すというポリシーは全く変わっていません。社会情勢が変化してもこの信念はもち続け、少しでもわが国の産業の発展に貢献していきたい」と結ばれた。